

2章 側注 シアノバクテリア

シアノバクテリアは、太陽が当たる日中に光合成を行い、夜には光合成をやめて粘性物を放出させる。その結果、その粘性物に砂や泥が付着し、シアノバクテリアの周りに砂や泥が固定していく。その繰り返すにより、この岩石が大きくなっていきました。

